

性の多様性に関するアンケート調査 集計結果

○ 調査の概要

調査概要 :

近年の同性婚訴訟や、令和5年6月の「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」（理解増進法）の施行等を契機として、性の多様性に対する社会的な関心が高まっており、それに伴い、性的少数者をめぐる人権問題について考える機会も多くなっています。

長崎県では「長崎県人権教育・啓発基本計画」に基づき、温もりと心の豊かさが実感できる人権尊重社会の実現を目指して、様々な人権教育・啓発に取り組んでおり、性的少数者の人権についても同計画の重要課題の一つに位置付け、教育・啓発等の各種施策を進めています。

今般、県政モニターの皆様は性的少数者の人権に関する認識や県の取組みについてご意見を伺うことで、今後の施策等の検討に活用することを目的としています。

調査期間 : 令和6年5月31日(金)～6月30日(日) (31日間)

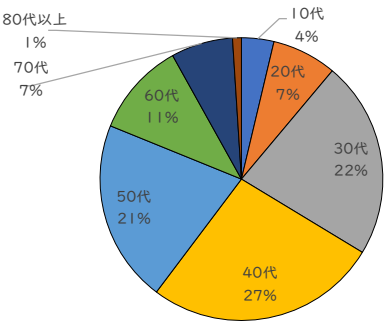
調査対象 : WEB県政アンケート全モニター350名

回答数 : 297名 (回答率84.9%)

調査担当課: 長崎県県民生活環境部人権・同和対策課

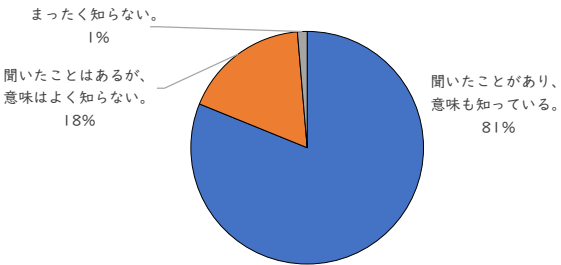
○ 回答者の年齢構成

年齢	人数	構成比
10代	11	3.7%
20代	22	7.4%
30代	67	22.6%
40代	79	26.6%
50代	62	20.9%
60代	32	10.8%
70代	21	7.1%
80代以上	3	1.0%
合計	297	100.0%



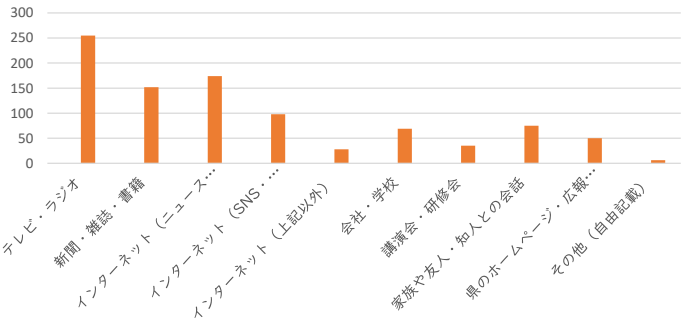
Q1-1.「LGBT」「性的少数者」という言葉聞いたことはありますか。意味も知っていますか。

選択肢	人数	構成比
聞いたことがあります、意味も知っている。	241	81.1%
聞いたことはあるが、意味はよく知らない。	52	17.5%
まったく知らない。	4	1.3%
合計	297	100.0%



Q1-2.性的少数者（LGBT）についてどこで見聞きましたか。（複数回答可）

選択肢	回答数
テレビ・ラジオ	255
新聞・雑誌・書籍	152
インターネット（ニュースサイト）	174
インターネット（SNS・掲示板）	98
インターネット（上記以外）	28
会社・学校	69
講演会・研修会	35
家族や友人・知人との会話	75
県のホームページ・広報誌・テレビCM	50
その他（自由記載）	6

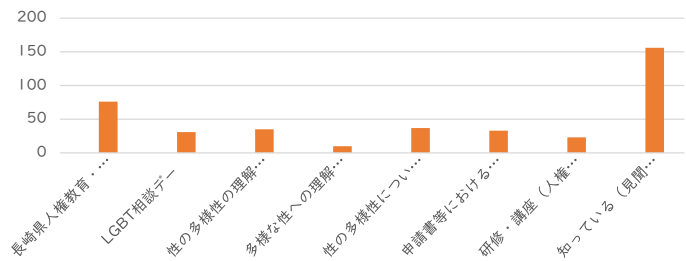


その他の主な回答

- ・ 友人
- ・ YouTube
- ・ 知り合いにLGBTの方々がいる。
- ・ 自分の子の専攻科目の中にLGBTに関するものもあり、日常会話で話題になることがあった。

Q2.性的少数者（LGBT）の人権にかかわる長崎県の計画や施策で知っているものをお答えください。（複数回答可）

選択肢	回答数
長崎県人権教育・啓発基本計画	76
LGBT相談デー	31
性の多様性の理解啓発イベント	35
多様な性への理解と対応ハンドブック	10
性の多様性についての啓発テレビCM	37
申請書等における性別記載欄の見直し、企業・団体等への性別記載欄見直しの働きかけ	33
研修・講座（人権出前研修、駅前じんけん講座など）	23
知っている（見聞きしたことがある）ものはない	156
その他（自由記載）	4

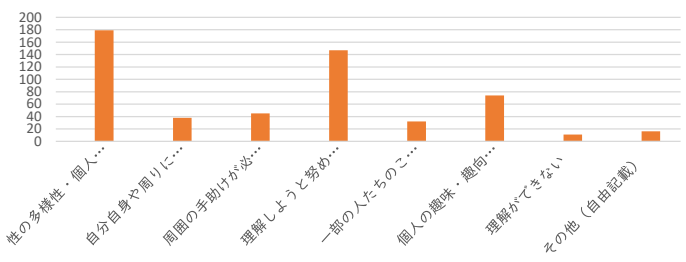


その他の主な回答

- ・五島では高校生が商店街でLGBTステッカーを配布し長崎新聞に取り上げられるなど民間レベルでの意識の向上は高まってきているが、県としての取り組みは見える化していない。

Q3.性的少数者（LGBT）について、どのような考えをお持ちですか。（複数回答可）

選択肢	回答数
性の多様性・個人の人権として認める必要がある	179
自分自身や周りに当事者がおり、身近に感じる	38
周囲の手助けが必要である	45
理解しようと努めようと思う	147
一部の人のためのことであり、身近に感じない	32
個人の趣味・趣向の問題であり、特に何も思わない	74
理解ができない	11
その他（自由記載）	16

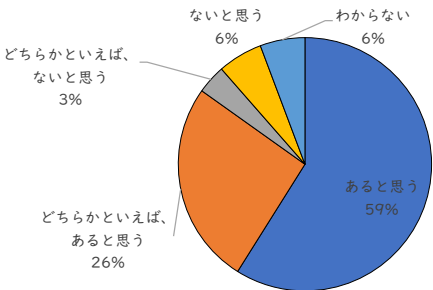


その他の主な回答

- ・そもそもその人に関して、人権はあり、認めているはずなので何をする、思うに関しては自由だと感じる。私自身に影響を及ぼさないのであれば特に問題はないと思う。しかし性犯罪を犯したり、自身の欲求の為にLGBTを悪用してる人に関してはよくない。だがこれを判別する具体的なものがない為、難しいと思う。
- ・総論としては良いとしても、例えば自分の子どもが該当するとしたら、親としては悩ましいと思う（そう思うこと自体が、LGBTへの理解ができていない証であろうが・・・）。
- ・様々な感覚や価値観があると理解はするが、公的な検討は慎重に進める必要があると危惧している。
- ・当事者が声を上げることは、カミングアウトすることにつながる為とても難しい。なので、周囲が声を上げる必要性を感じる。
- ・性的少数者が生き生きと生活できるよう、可能なところから、法整備を進めていくべき。

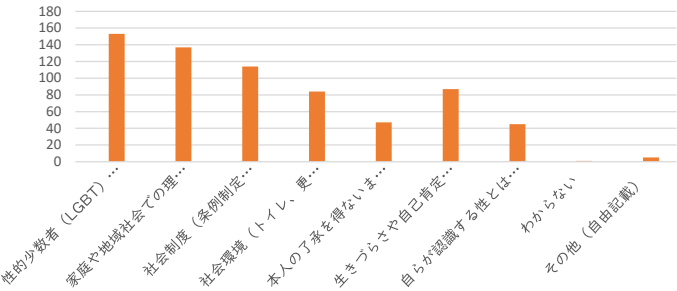
Q4-1.性的少数者（LGBT）であることで悩んだり社会生活上困ったりすることがあると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
あると思う	175	58.9%
どちらかといえば、あると思う	77	25.9%
どちらかといえば、ないと思う	11	3.7%
ないと思う	17	5.7%
わからない	17	5.7%
合計	297	100.0%



Q4-2.どのようなことに悩んだり社会生活上困ったりしていますか。(3つまで)

選択肢	回答数
性的少数者（LGBT）であることを理由とした不当な差別・ハラスメント	153
家庭や地域社会での理解が不十分（教育・啓発が不十分）であること	137
社会制度（条例制定等）の整備が不十分（法的な家族と同様の制度が利用できない）であること	114
社会環境（トイレ、更衣室等）の整備が不十分であること	84
本人の了承を得ないまま性的少数者（LGBT）であることを暴露されること（アウティング）	47
生きづらさや自己肯定感の低下（メンタルヘルス）	87
自らが認識する性とは異なる性の服装や言葉遣いなどを強要されること	45
わからない	1
その他（自由記載）	5

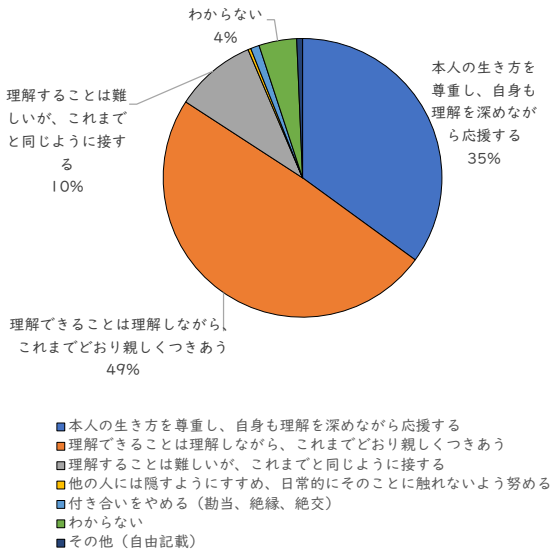


その他の主な回答

- ・ 学校の環境などでは取り組みを行っているが、教諭での対応が価値観の違いで悩んでいると感じる。
- ・ 当事者たちの声として、「親(60代)に言ったら病原菌扱いされた」「LGBTイベントに参加することを止められた」「島では一生隠し通さないと生きていけない。でも島を離れるほどの行動力はない。」

Q5.仮に、家族や友人など身近な人から性的少数者であることを打ち明けられたら、あなたはどのようにしますか。

選択肢	全体	構成比
本人の生き方を尊重し、自身も理解を深めながら応援する	104	35.0%
理解できることは理解しながら、これまでどおり親しくつきあう	146	49.2%
理解することは難しいが、これまでと同じように接する	28	9.4%
他の人には隠すようにすすめ、日常的にそのことに触れないよう努める	1	0.3%
付き合いをやめる（勘当、絶縁、絶交）	3	1.0%
わからない	13	4.4%
その他（自由記載）	2	0.7%
合計	297	100.0%

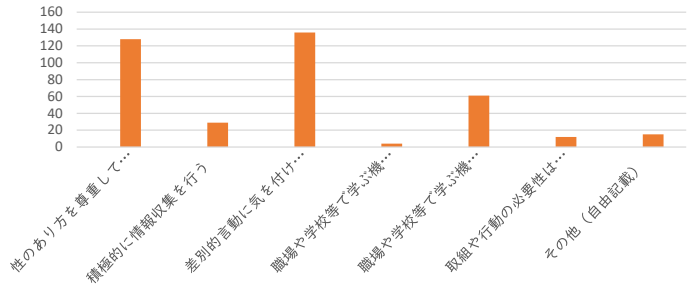


その他の主な回答

- ・ 性的少数派だからという理由で、特別に応援をすることはしない。異性愛者の家族や友人に対する接し方と変わらない。
- ・ 該当者が家族と友人では対応も変わると思う。

Q6.性的少数者（LGBT）の人権について、あなた自身が取り組んでいることはありますか。（複数回答可）

選択肢	全体
性のあり方を尊重している	128
積極的に情報収集を行う	29
差別的言動に気を付ける、気づいたら注意する	136
職場や学校等で学ぶ機会はあるが、気づいても対応できず、行動につなっていない	4
職場や学校等で学ぶ機会がなく、行動につなっていない（できることがわからない）	61
取組や行動の必要性は感じない	12
その他（自由記載）	15



職場や学校等で学ぶ機会はあるが、気づいても対応できず、行動につなっていない主な理由

- ・ 本人が周囲に知られることへの不安がある中で、強くLGBTの環境受け入れを一方向的に進める行動に抵抗がある。
- ・ そのような方々がおられることはネットやテレビなどで知っているが、実際に自分の周囲にはいない（知らない・気づいていないだけかもしれないが）ので、接する側の当事者の経験がない。

取組や行動の必要性は感じない主な理由

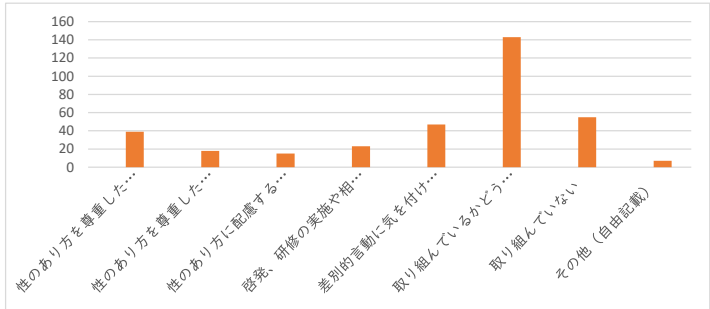
- ・ 何をしたいのかもわからない。知識・興味もないため行動まで移せない。
- ・ 本人が主張するのなら受け入れたりするが、本人が打ち明けないのであれば大きなお世話であり失礼にもなるから、打ち明けてないのなら大事にしてわざわざ行動しなくていいと思う。
- ・ 一人間として接しているから、別にLGBTを意識していない。

その他の主な内容

- ・ 新しい感覚なので意識改革をどのようにしたら良いか私達も戸惑うし、頭では理解しなくてはと思うけど実際のところ自分も差別的態度をとらないか不安もあります、とにかく腫れ物に触るような感覚にはなりたくないです。
- ・ 対象の方が周りにいないので、対応したことがなく、いざその場面になったらどうするのか、想像もつかない。
- ・ 性別を意識するのではなく、その人個人として接するようにしている。

Q7.性的少数者の人権について、あなたの地域や職場・学校等が取り組んでいることはありますか。（複数回答可）

選択肢	全体
性のあり方を尊重した取り扱い	39
性のあり方を尊重した環境の整備	18
性のあり方に配慮するための情報収集を積極的に行う	15
啓発、研修の実施や相談窓口を設置する	23
差別的言動に気を付ける、気づいたら注意する	47
取り組んでいるかどうかわからない	143
取り組んでいない	55
その他（自由記載）	7

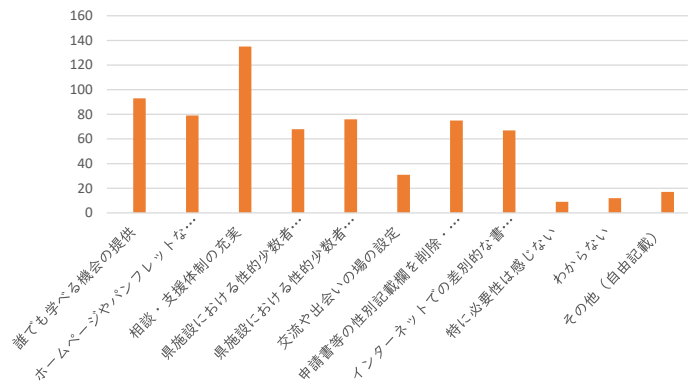


その他の主な内容

- ・ 会社で多様性の話が何度かあった。
- ・ 性別記入欄にその他という項目を設ける。
- ・ 中学校の制服が性の多様性に配慮した制服に変更されると知りました。

Q8.性的少数者（LGBT）の人権を守るために、本県でどのような取組が必要と思いますか。（3つまで）

選択肢	全体
誰でも学べる機会の提供	93
ホームページやパンフレットなどでの啓発、情報発信	79
相談・支援体制の充実	135
県施設における性的少数者（LGBT）に配慮した施設の運用	68
県施設における性的少数者（LGBT）に配慮した施設への変更	76
交流や出会いの場の設定	31
申請書等の性別記載欄を削除・見直しや多様な性のあり方に配慮ある窓口対応	75
インターネットでの差別的な書き込みを無くす取組	67
特に必要性は感じない	9
わからない	12
その他（自由記載）	17



その他の主な回答

- ・ 多目的トイレなど、生活や暮らしに必要な物は設置すべきだと思うけど、過度のLGBT対策は不要。
- ・ LGBTの方のコミュニティ作りの方が大事と思います。仲間を作ってあげること。
- ・ 今までどおり、男と女は入浴とトイレに関しては分けて欲しい。
- ・ 生きづらく感じたり、困った制度の実例を沢山知りたいです。
- ・ 子供の時から学校教育。

Q9.性的少数者に関する人権や施策について、ご意見・ご感想等ありましたら自由にお書きください。

主な意見

- ・ 学校環境や職場に早急な対応は該当者がおられる場合もあるので相互の状況において進めて欲しい。
もっと、ただの個性や志向として多くの人が受け入れるぐらい知識があり寛容な社会になるといいと思う。
障がい者や出身地や見た目も同様に、個性として活躍できる社会への取り組みをお願いいたします。
- ・ 子供の頃から学校で学ぶべきことだと思う。性的少数者の方々がいると知るだけでも、理解が深まりお互いに生活しやすい社会につながると思う。
- ・ 最近でこそタレントなどメディアでの露出もあって、そこまで珍しくなくなりましたが、昔はそんな方たちには生きづらい世の中だったと思います。
理解できない方も特に年配の方などはまだ多いとおもいます。
わたしの身近な人にはいないので、あるいは知らないのですが、そう普段考えることはないのですが、普段から知らないうちにそういった方たちの尊厳を知らないからと片付けたりしたくはないし、そういった教育だったり環境整備もあっていいと思います。
- ・ LGBTであることを理由とした不当な差別・ハラスメントは無くす必要があると思うが、身近にいないので行動に移す、取組む事が無い。各個人の意識が重要で、情報発信を継続して地道に意識を変えていくしかないと思う。
- ・ 最近本当にLGBTの方の優先事項が多すぎて、多数が生きにくくなっている、
誰だって悩むこともあるし、生きてれば嫌なこともある、差別やいじめはダメだし、LGBTの方が悩める部分を多少わかるが、多少頑張らないといけない。我慢しないといけない事はあると思う。LGBTの方の悩みを100%理解は出来ないけど、それは個人個人も同じ、お互い歩み寄らないといけないと思うけど、多数が強制されることが多すぎる。
- ・ 持って生まれたものなので、性の多様性・個人の人権として認める必要があると思います。否定するのはおかしいと思う。
- ・ 性的マイノリティの方の悩みや、どのような社会的な支援や改善を求めているのか、例えば協力できる当事者団体や個人などとの意見交換の場などを通じて今後の施策を検討、具現化していったらと思います。この問題が性的嗜好と混同されているようなところも感じます。性と心と体の不一致のため苦しんでいる方が少なからずいるということを、人権問題として正しく理解する取組を進めていただき、差別解消に向かっていけば良いと思います。当事者自らは声を上げにくいでしょうし、見た目は別に法律上の男女の性差、結婚など難しい問題ですね。
- ・ 時代小説等の中にも陰間や男色という言葉があるように、昔から少なからずその存在はしられていたであろうことが推察できる。それは人間の性（さが）であり、男性でも人体の構造上女性ホルモンもあり、女性的な部分が誰にでもあるし、女性だって男性ホルモンも出てるわけで男性的なものも持っている。その割合が多いか少ないかなのかもしれない。
近頃はある程度認知度も出てきているとは思いますが、まだまだ社会的には偏見があり変質者、変態としかとらえられず誰にも相談できず一人で悩んでいる人が多いのではないだろうか。ただ好みが違うというだけなのに。
性に目覚める年代の子供は特にそういう傾向にあり、いじめにあったり、悩んで不登校になったり、孤立したりして自殺者等も出てくる可能性もある。
相談窓口は担当者が同じLGBTの人がなってくれると相談できるのかもしれない。LGBTというくくりでなく、人権問題としてもっと性の多様性についての啓発や研修の場が必要であると感じる。
社会的に受け入れられるのはまだまだ遠いことかもしれない。しかし、少しずつでもそれを変えていかなければいつまでもLGBTの人権侵害は続いている。
- ・ 学生時代に、見た目は男性、心は女性の生徒がいて、同じ更衣室を使用していた。初めは抵抗あったが、だんだん平気になった。
しかし、皆が平気なわけではないと思うし、その子自身もどちらの更衣室も使いにくかったかも。。と思う。
学生達にもそういう配慮が必要だと思う。また、性的少数者に配慮した施設（更衣室、トイレ）で事件が起きないか不安でもある。
- ・ 法的な制度が必要だと思うので、県だけでなく、国とも連携して取り組んでほしい。
- ・ 自分の性自認について考える時間やきっかけがあまりないように感じています。大学の講義で、セクシュアリティにはたくさんの種類がある事を知り、自分の性的指向について考えるきっかけとなったので、LGBTについて学べるセミナーなどがあれば、より多くの人が自分事として考えられるようになると思いました。
- ・ 性的少数者の方は、性別適合手術を検討していたり、ホルモン治療を受けていたりなど、日々、葛藤や悩みを抱えながら生活されているように思います。
長崎県には、そのような相談をできる専門施設(病院)が、少ないということも聞いたことがあります。
私たち個人が理解を深めていくことはもとより、行政として可能な限り、性的少数者の方に寄り添った対応(条例制定など)も、行っていただきたいと思えます。
- ・ 最近男女の制服の違いが少なくなり、子ども達の気持ちに寄り添った形になりつつあると思います。学校で、LGBTQだけではなく、障害者や難病、見かけの違いなど、もともと人は違いそれを尊重することが大事な事なんだと教えてほしい。自分と違うのは当たり前と知っていれば、差別は起きないと思います。
- ・ 確かに性的マイノリティーに対する行政の最低限の対応は必要だと思います。しかしながら、(あるデータによると13人に1人程度がこれに該当しているということを見分したことがある)、私たちが実感するこのような該当者は極めて少数者だと思います。その方々の主張も分からないではありませんが、現行憲法の枠を超えての裁判例があるなど、逆に一般国民が卑屈にすらなるような施策はいかなるものかと思う。
自宅以外のトイレ、公衆浴場での対応、税金控除に対する配偶者の立場等、一筋縄では解決できないものが多く、弱者保護を前面に押し出す施策に傾倒しないように十分時間をかけて検討する必要がある。とは言っても、最終的には国の対応が明確化されなければ、都道府県が先行しても無駄な結果も想定される。
- ・ 周りにLGBTの方々がいるので、私個人としては変に意識して接したことはない。友達。
ただトランスジェンダーの人達のトイレや更衣室などの利用で、本人も周り(他人)も悩むところではあると思う。
そして本当にトランスジェンダーなのかそうでないのかの見分けは他人には分からない。だから性犯罪の心配も出てくる。
そして何もかも男女の区分を分けないのは違うとも考えている。LGBTもいれば、男、女もいる。体の作りも違うし、女性らしさ、男性らしさがあっても不思議でない。だからLGBTの為に、差別化をしないようにと無理に一つにしなくてもいいと思う。